

基 総 第 1 8 4 号

令 和 2 年 4 月 2 4 日

基山町議会

議 長 品 川 義 則 様

基山町長 松 田 一 也



第7回町議会と語ろう会における町民意見・要望への対応について（回答）

令和2年3月23日付け基議第403号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

第7回町議会と語ろう会 「町への要望・意見」

1 農業関連

(1) 新規農業者への補助金はあるが、新規農業後継者への補助金はなぜないのか。

【回答】

現在、実施されている農水省の農業次世代人材投資資金は、準備型（就農前2年間（年間最大150万円））と経営開始型（就農直後から5年以内（年間最大150万円））があり、いずれも、農業後継者も対象としています。

ただし、交付金の用途を明確にすることと、より自立し経営を目指す意味で、親の経営から独立した経営（収支管理）を行うことが要件となっています。

(2) 農林災害等は、40万円以上の災害しか補助金の対象にならない。少額の災害についても対象にできないか。

【回答】

40万円未満の災害復旧については、活用できる災害復旧の補助事業はございませんが、被災農地が中山間事業又は多面的事業での登録農地であれば、当該組織の中での合意（被災箇所が復旧できないと周囲の農地や農道等に影響があることが前提で、同様な被災が今後も発生した場合も同様に扱うこと等）が得られれば、交付金を活用した活動費の経費として充当することも可能です。

2 商工業関連

(1) 商店等の後継者・事業承継に関する対策を検討してほしい。

【回答】

事業承継については、佐賀県中小企業事業承継円滑化支援事業をご案内するとともに、身近な基山町商工会等においても経営相談の対応を行っており、経営についての専門的なアドバイスの中で、事業承継の相談に対応しています。今後も関係機関と連携し、相談対応を強化していきます。

また、若い力を掘り起こし支援していく意味で、今後も未来を担う商店街組合や商工会青年部等の活動を後方支援していくとともに、町産業振興補助金等を活用して、新たな取組や事業の拡大等の推進を図ります。

(2) 外国人の買い物客が多くなった。商店等に翻訳機等の貸し出しを考えてほしい。

【回答】

町内で暮らしている外国人の方々への対応としては、町ホームページ及び公共施設等案内看板の多言語化、ごみ収集カレンダーの外国語版の作成・配布を行っています。

商店等に貸出ができる翻訳機等は用意できておりませんが、スマホ対応の無料アプリなどが、広く普及しておりますので、現場で活用して頂ければと考えております。

(3) 町長がエミューなどで基山町をPRしているが、もっと魅力ある、人が集まる環境づくりに対するバックアップ体制が必要ではないか。

【回答】

基山町の資源を活用した魅力の向上を目指して、観光シーズンにおける寺社の取組や祭り、イベント等を開催する団体等に対して、基山町観光協会、産業振興協議会等と協力して支援を行っています。

また、まちづくり基金事業により、魅力ある地域づくりに取り組む小グループや団体への財政的支援も行っています。

町のPRについては、引き続き、基山町ホームページやパンフレットなどで、魅力ある基山町をさらにアピールしていきます。

3 定住促進関連

(1) 中心市街地以外（中山間地）の人口減対策が必要ではないか。

【回答】

中山間地の人口減少問題については、十分認識しています。50戸連たん制度の活用意向調査の実施など都市計画制度の周知、活用により対策を進めてまいります。

(2) 地域コミュニティの維持・形成のためにも、転入者に対して行政区に加入するよう推進してもらいたい。

【回答】

転入手続きの際に、行政組合への加入促進チラシの配布や、居住される行政区の区長により加入の推進を図っております。また、新規開発の住宅地には開発事業者の協力を得て、組合の設立を推進しております。今後は、効果的な案内チラシの作成や、行政区長及び開発事業者等と連携を強化して、更に加入を推進したいと考えています。

4 防災・防犯

(1) ハザードマップを作成するだけでなく、想定外の被害が発生した時の対応が大事だが対策はとれているか。

【回答】

きめ細かな連絡体制の構築や実践的な避難訓練を実施していくことで、様々な災害に対するリスク管理と危機管理に取り組んでまいります。

(2) 町で避難所が開設された時に自分の区の人が避難しているのか、どこに居るのか分かりにくい。地域や区ごとの配置ができないか。

【回答】

自主防災会で、公民館等を一時的な避難所、集合場所として活用することは有効であると考えております。

(3) 区長や安全な町づくり推進協議会委員等で基山全域の安全点検活動をした。その後どう対策を立てたか、どう推進していくのか。

【回答】

点検後の対策として、令和2年度中に防犯カメラ15台と防犯街灯を10箇所に設置します。また、カラー舗装や転落防止柵等の交通安全施設の整備については、各区の区長、安全なまちづくり推進委員の方々と協議しながら進めていきます。

5 教育・子育て関連

(1) 子どものインフルエンザ予防接種を2回目は無料にできないか。

【回答】

佐賀県内において子どものインフルエンザ予防接種費の助成を行っていない市町が7市町、また、助成を行っている市町の中でも中学3年生まで2回目の助成を行っているところは基山町を含む3市町しかなく、当町においては、早い時期から任意接種である子どものインフルエンザ予防接種費の助成に積極的に取り組んでいます。

また、定期予防接種である高齢者のインフルエンザ予防接種についても、自己負担額が県内一低い500円で接種できる支援を行っており、町全体として重症化リスクの高いとされる子どもや高齢者のインフルエンザの発症及び重症化予防に努めてきているところです。

今後も、どのような制度が利用しやすく、予防に有効であるか等を分析しつつ、制度の充実を図っていきたいと考えています。

(2) 10月に行われた基山町幼年消防クラブ防火パレードは、認可保育園だけでなく、町内の他の保育園も参加できないか。幼児に平等な対応を。

【回答】

防火パレードは鳥栖・三養基地区消防事務組合の主催で実施されています。

平成30年度からは町内の認可無認可に関わらず参加案内されており、各保育園の判断で参加されております。

(3) 出産祝金や定住に関連する補助金は、地域振興にもつながると思うので現金ではなく、町内で利用できる商品券で対応できないか。

【回答】

定住に関連する補助金は、住宅の取得諸経費や住居の移動に伴う諸費用の補助を目的としていますので、現金での補助を基本としています。出産祝金は行っておりませんが、18歳未満の子どもが5人以上いるご家族に対し、子育て家族応援記念品として商品券の贈呈を行っています。

6 高齢者・福祉関連

- (1) 元気な高齢者をどうやって維持していくのか、若い世代とどう循環していくのか、真剣に考える必要がある。地域の自治活動の後継者の問題はどのように考えているか。

【回答】

区長会や、各区で実施している町長懇談会などの際に意見交換をさせていただき、高齢者福祉や定住促進の施策と併せて、今後の地域コミュニティの維持、拡充に向けた仕組みづくりや、支援の方向性を検討できればと考えております。

7 その他

- (1) 本桜地区と高速道間の小郡市の土地の管理が不十分であるので、小郡市へ対策をとるよう要請してほしい。

【回答】

昨年度小郡市に要請を行い、継続協議中となっています。今年度も引き続き要請及び協議を行ってまいります。

- (2) 基山(きざん)からの夜景がきれいだ。オートキャンプ場の整備など人を呼ぶ施設の整備が必要ではないか。

【回答】

基山(きざん)公園には、歴史的価値の非常に高い、国の特別史跡基肆(きい)城跡が所在しており、自然の形状を残しつつ天然の草スキーを楽しめる県立自然公園として、古くから基山町の名所の一つでもあります。

そのため、基山公園につきましては、現在の自然の地形や歴史的な価値を維持していきたいと考えています。

オートキャンプ場の整備としては、既存の基山町キャンプ場の活用が考えられます。現時点では同施設の設備や周辺道路環境など、すぐに対応は出来ませんが、注目の高まるアウトドアレジャーへの対応や、キャンプ場の利用促進について検討したいと考えています。

- (3) 弥生が丘方面から基山庁舎付近まで直線道路があると便利だと思うので、検討できないか。

【回答】

今後の幹線道路の改良・整備や既存の生活道路の維持・修繕などについては、策定予定の町道に関する個別施設計画の中で、優先順位を定めて、必要に応じて検討したいと考えています。